



24
まいん

せんになつか

千人塚

いくせん
ちんこん
幾千の
鎮魂のモニュメント



森林の中にひっそりとたたずむ千人塚

せんになつか 千人塚

は、上部鉄道跡を角石原から
いしがさんじょう
石ヶ山丈に向けて進むと、途中左手に小さい石や無名の
墓石が不規則に並べられた塚があります。

これは、かつて別子山中で亡くなった無縁の旅人等
まいそう
を埋葬したものといわれており、せんになつか
と呼ばれるよう
になりました。

千人塚から、約20メートル離れたところに一基の石
碑があります。これは、明治20年(1887)4月建立と刻ま
れていて、明治時代中期に別子銅山で坑外の運搬作業
に就役して亡くなったまつやまかんごく
松山監獄の囚人のしょうこんひ
招魂碑
(死者の魂をあの世からこの世に招いてまつり、慰める
こと)も建立されています。

千人塚では、毎年盆になると、亡くなった方々への供
養が現在も続けられています。



しょうこんひ
松山監獄囚人の招魂碑



注意！

いしがさんじょう
ここから石ヶ山丈までの上部鉄道跡は、道が危険な場所もありますので十分に注意してください。